

資料番号	2625-01-001-01	2625-01-001-02	2625-01-002-04	2625-01-003-07	2625-01-003-09
調査年月	2005/2/21	2005/2/21	2005/2/21	2005/2/21	2005/2/21
調査者	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩
名称	絹婦人服地	絹婦人服地	絹婦人服地	絹婦人服地	絹婦人服地
糸	素材 タテ	絹 絹	レーヨン? レーヨン(ライト)	レーヨン? レーヨン(太糸・平糸)	絹 平糸
	ヌキ	絹、丸撚金箔糸	レーヨン(ダル)	レーヨン(細糸強撚糸) 丸撚平箔糸	平糸および強撚糸
	地色 朱顔 糸	黒	ベージュ	紫	濃緑色
色	タテ	黒:S撚	ベージュ	紫	濃緑色
	ヌキ	黒:Z撚	白	紫	濃緑色
加工技法	織技法	絹糸(S方向並撚)、緯糸(Z方向に強撚)の糸使いで平組織の若練によると思われ、外観は、粗硬感があつて、楊抑状の縮皺を呈する。	昼夜朱子地組織による紋柄	地風はちりめん様の細やかなシボを呈す。金糸挿入の緯2重組織で柄を出す。	緯2重組織の紋織
	染技法	若練りの先染と思われる	先染糸	丸柄の中央には、赤、黄の彩色を施す。捺染による跡染め加工による配色加工を加える。	先染糸
	その他				
文様	婦人肖像柄	花柄、鳥柄、山岳柄	丸、菱型および波形曲線を配す	笹の葉模様	ねップ状を配す
形状					
用途	1ポイント婦人服地	婦人服地	婦人服地?	絹婦人服地	婦人服地
特記事項		絹糸は甘撚のレーヨン糸で紋柄を。緯糸はレーヨン(ダル)を絡ませた壁糸を織り込み、紋柄を際立たせて表現して。東洋調の柄行きで、ゴージャス感を呈する。	丸撚金糸は押圧による平箔状を緯入れし、織りと染め併用を巧みに取り組んでいる。	緯糸の強撚糸を浮糸として、紋柄を呈し、表面の外観は強撚効果による浮き出しと縮皺を併用し、重厚感を呈する。	塊状のある壁糸を表裏に浮かせドット様の紋様の如く呈するのは特殊な例の1つといえる。
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					